通 論 性藤進講義 士五

十八日板權 免許 佐藤尚中蔵版

門人筆說

定價二十銭

外科通論卷之十五 骨疽トハ骨ノ壞死ニシテ即チ全骨或ハ骨ノー 亡セン麼骨片ラセクイステ心小名ケ又骨傷 部全り生機ヲ失フヲ稱名スル者ナリ而シテ死 合併スルモノラ骨寫性骨疽下名ク **卜斗鱼角一美上五** 〇第三十五章 〇骨 * 代献 * 一大 佐藤進講義 法○ 窗骨截出術 通骨疽○全骨疽○症候及鑑定○療 順天堂戲友

夕禾 近言 一方一二

ار

コロ

如 外 ラ 柳骨 之 ナ 骨或八皮様質時トレラ骨膜ニモ亦血液ヲ溢 養障碍等一症习發見スル丁 り時 傷 7 廢止八元来骨疽,直接 + 循 サルへ 外傷 次八 疽 環ラ廢止スルラ以テ之为直 劇シキ トレ 軟 7 シ骨疽 三 骨 骨ノ震蓋及と打 件ニ歸スへシ テ 部 麻 二紫 ノ脱疽 ノ直 痺セン ムルト 接 1. 部 源 同 + 因 原因トナル 分二骨 シック 7 撰等是二属 ,, 1 骨髓或八海 + ") 即 1. 接 1 千局 ス 消 原 雖 處 + 耗 因 神 モノ モ 或 ス -经 血 对 綿 作 液 給 出 T 用 狀

生 等諸 疽 ナ ス 急 骨 ス シ ス 1十五角一家一名 骨 ル ルコ ル 性 スル等 元 12 7 陥 骨 般 トキハ分 面 鋸 モノ 1 難 1 中 膜 曝 斷 丰 ナリ 狀 炎 i 其 ルモノ 露 キョン モ 態 性 骨 若 亦 スル等三由 狀 派 州 其 No. リハ複 炎 テ骨ノ一部三血 及骨 血 ノ如ノ血 部 亦従テ 由戶中心骨疽 ナリ 行 1 體 骨 骨 但シ ラ生 異 ラ其 疽 折 炎此諸 i 管 外 十ツ -7 テ 生 表 由 傷 ヲ破傷 其 面= 血 或八表面 テ 1 症 ス 他 劇 液 行 軟 12 * 骨 運 スル 日勿 血 手 組 7 7 頂天堂裁友 阻 織 術 骨ノ 行 疽 T 行 骨 ラ町 7 絕 1) ラ酸 1 7 劇 疽 大 源 離 i 由 骨 狼 基 剥 テ 因 止 7

慢性骨炎及骨膜 繼 丰 膜 機ラハーマル管及と此ョリ ス 而シラ急性人化膿機三於ケルカ如ク慢性 日勿 發 局 又急性骨炎及骨髓炎ヲ源發シテ骨膜炎之カ ナル丁最モ多之殊二長キ管骨ノ全骨疽 ヨリ 部八 症 即 1 骨 抑、 チ + 悉り骨 骨髓=化膿,生不故二炎 炎症 中二血 ル 中モ 二由 炎 液ノ輸 疽 亦 該症ハ = テ 骨膜化 骨 陥 疽ラ發 中 送ヲ廢絶ス 殊 ル 7 二骨疽 骨體二波及スル 聽二階 スル 免レサ ラ續發 勢ラ蓝 而シ ル モノナ 11 トキ テ モ 1 化 ヲ生 延 易 膿 骨 炎 セ 1 *

17 术 ス 丰 右 テ ス 十十 直角 美工 屍 二論說 炎性 骨 骨疽ラ 陷 其 ル 张 1) 疽 丰 二就テ之ヲ剖 一二由方骨給養動脈为阻 7 ハス 新 1 ラ ノ血 7 サルラ スル 生 生 王實際二 生スルフナキーアラスト 而 スルモ 行ラ障 坳 ì テ 源 頹 孙 得 因 敗或八乾 於 源 ノ外トロンボ スル) ヲ 檢 殿心給養ヲ失フラ以テ骨 因 スル テハ 實 ,, 緊要 尼山十十分之前 多りり 驗 = 酪變質二陷 班 セシ 塞 ナラ 理 1 A. E 論 セラレ是レ 如 1 + 雖 と、或ハ「エン 頁已是裁反 上 # 殆ン 源 ル 告 12 E 因 就 井 E 疑 偿 1 ラ論 團 ,, 由 稀 疽 即 3

骨疽 驗 只 部 テ 動 り續 給 骨 リ 諸 脈 = -111 疽 養 於 由 1 方 ヲ 1 テ給 解 發スル骨疽ノ變化ヲ論 動 テ 閉 ス シテ他 ヲ生セシ 3 ") 總テ成 割 之 鎖 脈 7 養 得 孔 的變化殊 スル 1 徴 テ成 部二變化 動 周 長 E 脈 4 セシ 圍 大 孔 12 ル セシ 三急 二當 = 7 -ナル モ 足 ヲ見ルフ 骨,給養八 細 アリ , 性 骨) 棍 ラ + 骨 ス 1) 僅 7 即千家 部 膜 セン 固 -トス尊 , 故二一 壊 + 炎 7 血 1 克, ì 揷 數 及 死 行ヲ廢 ス夫 + 部, E 者 多八 7 1 骨髓 云 生 脛 曹 セシ セルシ レ骨 骨上 7 給 テ試 止 動 -炎 養 脈

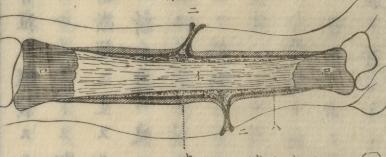
連續 七 ī 膜 テ 全 图 1 稱スル者ニシテ 下十 鱼角一美一 カールスト云 全骨 但 周 セシ骨 炎或,骨髓炎 難 ス 園ニ新骨ラ 維 ルフ 症 二 於 持 折 疽 質ラ補 多 劉 = 由 スルー造 ī テモ新骨ノ 部二生 最 テ 骨ノ 殆 班 發 化 給 E 3 7 则 y ì ス 生ス 良 批 良能 如 骨 且ッ 14 折 ト全骨幹ョ失い 新 斷 疽 7 ルラ常トス即チ教骨 發 生骨 生= 離 新 部二 7 1 繼 骨ラ ナス可 新 四 生 發 由 ,,更 キモノ セ 双铁 スル ラ常 スル 二之 生 頁之是歲反 井ハ 新 1 明 之 ラ 骨 死 骨 稱 骨 維 缺 同

5

和

テ 全 骨 雕 急 ス ケ 膿 四月 フ 膜 性 火火 モ E 下 骨 其 计 化 1 及 1 疽 = 3 + 膿 略 膜 作 55 E 1) 7 ,, 骨 骨 圖 續 1) 炎 脛 用 脛 i 雕 骨 及骨 冊 中 而 即 發 7 7 揭 示 幹 シ 1 ,\ 于 セ

スラキニク幹/脛 圏四十四弟 示ル陥死全骨骨



ホ 滲産成壁端全イ 膿骨造 テニョ か淫物形 ニハナ死 計 ラル瘻破餐リメセニ的メ膿ル骨 囲 小 口開生肉是 ラ 由 炎即腔両 口 ム 死 ョ レス 芽レルテ性チノ骨健

死骨 間 端 幹一ツノ死 従 在 死 セラ ス 十年通命一卷十五 骨 死骨 テ 而 テ = 健 類敗又皮膚八膿 死骨片人 由 片 レ全骨 シテ 片 1 骨二 芽 健骨ョリ分離 肉 脱 肉 ヲ生ス 骨 幹中二八 并ノ一部ハ 固 并 去セサル 着ス 周 片 1 膿 三變 圍 而 针ョ 斯々 i テ 血 間 一由 ス死骨 填 溶 行全り廢 消 肉 " セント 填 充 芽 テ其各 解 耗 ス 滅 1 片 セラレテ其容 五 發 12 テ ヲ包 セ ス 膿 ル 生 處二於 空 止ス ス 增 圍 胴 井 = 而 順天堂戲友 化 即 中 シ 加 ス ナ全 最 テ ル テ ス = ス 破 ヲ減 膿 即 初 死 12 其 骨 骨 腔 開

川天堂満勝

常 年ョ ルモノナリ其 從 生 瘻 二方テハ 州 七其骨質最 P 死骨 費スモノ 平滑十八骨 如 3 1) + , \ -由ラー様 死 7 肥 消息子ヲ挿入シテ 通 厚セシ膿 四 例 骨片ノ健骨ョ 大 方 數 初 アリ 111 鬆 幹ノ表 3 11 月月費 形 其 疎 ナラ 狀八悉十ク死骨,大 包裹 腔 間 ナルモノ 1 面 絕 ス ヤス 7 ተ ス 壁 へス リか 之 而シテ 探 雖 可 變シ ,\ 膿 ヲ檢 雜 知 i 圧 既二新 ス 7 又 大 スル テ 年ョ 流 時 12 ス + 時 堅 , ル 泄 + 12 牢 骨質 経 + 加工 期 111 ì ス 1 小 答 州 丰 八骨 若 形 + 時 11 _

骨 狀 骨 ス ス = 圖 即 ス 7 流 F 4 1 12 逾 1 十自前 一人 F 應 動 形 注 1 二典 形 軟 古 1 状ラ技 入シテ死 變 圖 狀 組 ス恰 ス + 織 1)-7 + 7 12 i #" F 見 テ 示 ラ 7 型 づ 死 下 間 ス ハ セ THE 100 N. K 無 and the AT. セラ症従ルラ /骨 セニ 前 圖 之変状上 = 経日疽 上示圖 四 頂にき長え ル膿即ル 骨ョ千教=腔生肉ヨメ分健幹中イ 枢容死骨新ノス芽リ其離骨両リ死 囲骨二生周ロラ新周スョ端シニ ス及メセ囲膿發々囲而リノ骨階

12 談 苑 骨 由 骨 圖 テ 質 片 即 絶 " 7 四 周 十 死 冊 圍 五 圖 肥 片 -厚 新 1 刺 生 示 戟 ス ス

1

圖 六 第 四

即

千

全

骨

幹

脫

去

ス

ル

+

若

孙

時

於

テ

死

骨

片

性

7

存

ス

ル

E

1

+

1)

ス

ス

12

丰

全

ク

骨

幹

7

缺

丛

ス

續

維

持

ì

テ

舊

作

用

7

失

3

然

V

E

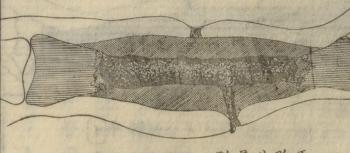
画

骨

端

7

連



ス遺腔シ脱骨リ陥死 ョコラ空去幹シヰ=

川开堂 一韻 協議

雕 肉 力方 サルル 十年五角 長一五 遭 并 サ 腔 如 孙 ス 又 7 王 惠 由ル 1 遂 7 主 ア 機 1 F 者 死 雖 ナ 1) 7 スルヤ香 彌久, 化 醬 漸 + y テハ全 骨 時 4 次 片一 既 肉 -ス - 死骨片 未 化 且 并 12 肉 歳 9 膿ニ由ラ全 Ŧ 脱 = 由 確 去 并 1 月ノ スル テ 説 + 久 填 周 填 ナシ 1) ì 然 充 圍 井 充 身 VE 丰 ,, 死 セラ 彌 二新骨 其 冊 或 疾 7 頂天堂或页 部 患 片 化 経 ,, ラ殺 化 + 而 化 骨中二 = 脱 12 骨 罹 空 膿 去 ì F 腔 12 セ



即問 過 產 由 右 離 由 テ 十十五角 生 腐 テ 7 1 モ テ 述 正生 論 全 ì 骨 然 成ア 哥 其 ハ骨 白 片 桃 ス 12 へシ 尿 幹 - 軟 急 缺 井 1 ル 長一五 济 疽 周 骨 骨 性 心 7 >> モノ 7 骨 骨 7 生 圍 元 疽 無 者 補 幹 膜 + 由 1 ス = シ云 12 1) 未 炎 テ ノ骨 7 " 充 + 即 1) SHE SHE 17 全 次 セ 3 ¥ 骨 ì 疽 全 化 7 千 , 新 1 骨 全 實 膿 少 幹 " 冊 兩 = 異常 骨 幹 骨 物 + 陷 7 7 7 生 幹 失 生 端 > カ 中 7 冊 t 軟 1 示 两 ラ ヤ ル ス ì 骨 骨 疽 急 経 ス 頂天堂處及 12 ス 後 端 下即 過 右 或 , 井 + F 通 新 圖 骨手 7 , ハ 12 3 >> 常 骨 17 論 稍 7 4 さ 分 ノ端 說 示 之 议 7 経

生 ヤ 7 1 2 12 井 腐 骨 既 -分 離 順天強調 ス 故 = 所 時 片物

疸 呀 右 用 井 7 新 二於方 性 议 全 7 骨 " 骨 廢 骨 大 論 テ " 7 腐 質 死骨 17 疽 軟 止 生 ス >> 7 骨 7 組 ス ス ル 骨 最 全 片 新 織 7 12 12 骨 時 除 髓 , ` -生 F = 3 幹ノ 炎 之 間 至 シ 去 ス 12 7 發 テ 及 12 + ス 骨 骨 除 者 + t ス = 12 骨 疽= 去 質 + 瑕 12 7 膜 1) 症 议 + + ス 7 炎 比 1 12 丰 14 テ " 冊 + 7 = 7 之 スレハ ス 由 早 見 幹 = 延 代 ~ y + 4 , 骨 ス シ 有 12 1 12 但 幹 肢 過 1) 12 大 シ 7 小 骨 局 是 作 丰

體 部 ス 用 短 發 之 十十五角一美十五 管 應シテー様 生 下 中 1 骨 骨 圖二示 7 右 ス 3 7 , 扁 ") 膜 ル E ル 冊 炎 骨 論 四月 海 平 骨或 ス 幹 ス 綿 7 疸 疽 + ナラ 12 生 , 狀 7 , E 管 作 骨 繼 , ,, シ 第四 差 シテかイ 膿生界死 骨 生 骨 示 十八 腔セハ骨 疽 骨 處 ス , 心膿口 柝 1 九 圖 壁樓腔健 ヲロ=骨 頁天之数反 示小破ト ス化開死 骨一骨 セ由/

骨三生 第四十九圖 ス ル 骨 疽 7 月 四 作 ヺ + 经 用八一樣 圖 過 セ = 示 ナル 者 セ 11 モ脱グンロンリイ 1) 者 E 川東端清陽 1-數 離骨 ス セ セ 然

通端

精州極

而記 潰 新 # 於化 ョリ蔓延ノ者シキ骨 本年通倫 美上至 患 骨ラ 僅 ル 爛 管 部 其 少ナリ加之全ク新骨ラ生セサル 料 膿し或い 海 骨,如夕死骨, 陥 發生シ易キ骨膜炎及 三一旦 稀 他 1) 綿 海 易 狀 リトス 綿 發 骨ノ骨 頹 ク且 狀骨ノ 生 敗之之三由于其骨斯次給養 セシ " 新骨升產 疽 疽 器となり 急性骨膜 新 7 ニア 周圍三新 發 骨 骨炎 リテハ炎 或 ス + ルフ " 炎八外 出スルフ 吸 骨ラ産 膜即 收 順天堂歲反 7 炎子 セ y 及成 傷 性 モソ 生ス 少 産 ラレ 即 骨骨 -因 チ 坳 炎性 或 骨 骨 7 2

女 彩 選 講 海 港 州 海

川浜端端

者 失 原 シテ磨發 **燐毒骨膜** 骨 多クハ燐蒸氣 i 二 多 テ燐ノ蒸氣 歐 ルハ下顎三生タルラ 习實驗センフ數 膜炎及上骨疽八殊二颗骨二生 遂二骨疽 洲 發 ス -7 火奴製造場ニアリテ業ヲ替ナ 炎若クハ燐毒骨疽 部北骨人為針骨鄉其 二階 りえ井 顎骨, ク慢 井ル 研 性中毒 田ナリ余カ目撃 スル所二 三月侵少他骨 病二雅 Ŧ 多元 ノナ -1) トス ッ手術 因 ト稱命ス ル 州 如何, ス 1 モ ヲ侵 ヲ受 而 如 1 12 十一種 理 ス 1) ケ E 其 即 毛

十年五 前 美上五 聽 却 カナリ余常二云 ラス幸ニシテ本 雅 磨發 ナカ 取 1) 健 名 未 然 康ラ客ス 火奴製造所 クルモ何 ランテ業 ルモノナラント依テ官ョリ令シ A アルヲ F 詳 蘜 カナ ッ不一 二就 一种一种 邦 開化八人八健康 以テ見レい其說未夕 盛ナキ 未夕 ラス或ハ云鱗 八多 可ナラ カシメサ 者七亦 此病二雅 カラサルニ由 如丰疾 リシシ 病 時トン 兹, 頂天堂或友 亦之ヲ ヲ助 者 ョリ燐 確 ケ或 ル テ ア 7 實 浒 1) 慈 聽 病 兹 蒸 明 +

上件論スルテノ骨質と

一下對腦腦

骨疽 骨ノ一部若ノい全骨ノ全ノ死二陷斗り之時 氏ノ試験センモノナリ ヨリスへシ此二八骨八骨殖トナレルヨ 氏等ノ諸氏之ヲ試驗二由テ数セリ殊ニ「オリ 即 モノハイリアール氏ノ試験二級と「ビルロー 上件論 ル氏ノ試験ラ以テ明著ナリトス次圖ニ示ス 發生スル良能八多ク骨膜ノ作用ニアル チトロヤ、氏フロレン、氏ハイ子、氏ワーグ スル好ノ骨膜炎或八骨疽等二由于新骨 张又鑑定骨病二骨疽ノ名ョ下タスハ 鑑 工

其膜セノヲ除コ術一甲 レ共術除示一フス 斗角角 缺ョ テニ右術や部小 シニ経シ 心保即部门、 五 凶り部メテ術其科=大十 洞骨百ラルニ犬 元膜五施モ於/ ラ新二骨後后一潤骨ノ 圖 補骨 八片視百片心膜膜肓 ヲヲ十コ 遺截日シト甲岬 七五 1 法7下,岬 即习 ヲヲ截骨 ヤ除ラ骨同圖骨 ヲ生 千截 七十 骨除 日截施除/ リス経片日二 示メ 即テラニ 檢除截 其視去 部七 士 新者 骨 頂天堂或石 但 生骨 片

岩 骨髓等 織 疽 1 11 者 ス + 7 鑑 央 部 如 " 其骨 其 濕 壊 何 冊 色 脱 外 死 術 骨 乾 暗 疽 り 疽 黑 然 現 枯 7 12 1 = 3 由 見 出 片 ス ナ + 骨 執 F 1 12 ス 時 他 中 曝 7 12 ス 骨八 容 沙 中 感路 十 七 1 軟 易 軟 1 v + 二 力 ク 其 部 於 組 テ 力 7 ナリ 織 論 例 軟 色 リ テ ラ 總 然 2 組 浹 中 ス 1 ヤ 如 血路路 織 白 テ 而 ") テ ス 哥 骨 殊 7 i + 決強調 1 1 1 12 乾 乾 疽 テ 疽 ス ス 組 7 脱 較 剙、 脫 如 如 1 常 織 疽 址 疽 骨 何 組 +

推出地

乾 臭 12 被 ル 12 折 十年通 篇一卷十五 骨疽 燥スル者ナルカ 7 后 端 ハル、 放 部常二空氣 モ甚シキ 1 骨髓未少分 ナキ ツィルナ ,, 生 ナリ 腐 深 深 スル骨 敗 故三此 在,全骨幹 在,骨 人機 惡 臭 i 堺線 疽 上裸觸 サ生 ラ帯 故二如此力骨 十八之二 灭 /如如 疽例之諸多, 1 7 如 スルラ 生セス且 フルモ キハ骨髓ノ 若クハ スル井八以又其骨全 + 商骨片,之引 十三 稀 1 + シテ 鋸 ツ其 軟 斷 とし ノ表面 腐敗 空氣 ス 端 組 頂天堂處及 テ 識 加 述 若 上生ス 柑 且 之 圍ノ 7 " = 腐 ,, 生 觸 11 出 由 骨 敗 惡 水 セ ス テ 12

外科 通 端 整 排

が一般では、

協關

深 庄 丰 脈 ラ 易シ 消 在 當 ス モ ス 12 息 是 , 若 7 1 如 D 子子 腐 4) レ益 井 何 + 7 シー旦 受 其 骨 ,, + ラ 揷 法 シ肉 容 7 片 " 1 健 膿 ヲ 易 V 間 鑑 芽 康 " 7 "全 = 中 腐 腐 緩 漏 識 部 身二 敗 + 敗 Q 泄 = ス ,, 之 ス 坳 壊 物 ル ル 7 水 危 . 7 死 = 7 瘻 探 " 脈 吸 部 險 血 檢 收 P 只 7 , 中 1 消 具 ス可 間 症 3 ス = 1) 息 12 -吸 狀 シ 可 子 4 肉 收 7 E 芽 然 及 7 12 發 1 ス 的 用 12 7 起 -太 發 1 由 7 , \ 7

多

"

,\

其

面

平

滑

ニシ

テ

硬

"

又

稀

粗

糙

微 = 小 ル 或八健骨ョリ分離センヤ香ヲ探知シ得 ナル窗骨ノ表面ヲ探知と得可ク且ツ窗骨ノ大 樣 知 ルニ由 十年 通 命 紫上五 由テ知ルへシ是レ腐骨ラ柑出スル 長短を亦知り易キモノナリ又腐骨ノ動不動 二 =カラ添へテ消息子ラ骨面=向ツテ歴ス + ノ濃 ルニアリ 緊 モノ小患部ヲ按診シテ其部ノ肥厚スル 要ナルモノトス其他鑑定ノ 厚ナル膿ラ ル + り而シテ妻ロョリハ黄色ニシテ 肥厚八骨質ラ 漏 泄ス 腐骨ノ周 而シテ新骨い 十四 圍二産 頂天堂鼓及 難 助 歷迫 易 1 生 + 7 知 ラ ス ス

由テ剥角ヲ起スモノニ

沙湖 電腦

片城

管骨珠 由一多分 於 常 由 ヲ造ラサル 古 檢 テ + = ス ル 然、 剔 然 論 リト 庶 痛 ス r 八判 12 幾シ Æ 十 起 ス其 市 鑑 病 モ亦 定法 八鑑定困難十り 然レ氏 機 決シ得へキモノナ ス 發 他骨 然 モ 7 急 7 生ノ世 皮 疽 性 以 而 若 曹 ラ冊 テ シ 7 状 テ クハ 7 ス ラ 湯 破 惠 ト發生, ス 者發 味 ,\ 亞急性 7 開 又消息子二テ 7 誤 診 ì 中心 断ノ テ 診。 即 熱 炎症 千骨 局 未 ぇ セ 骨 部 易 際 9 + 淹 疽 殖 誤 採 繼 7 ") D

之日 處 生 状骨二發スルヲ常トス而シラ其發生慢徐ナリ 骨瘍 生スルフ著 發スルラ居多ナリトス之二页シテ骨病 厚 し様、惡膿ヲ泄ラン骨疽ニアリテハ多クハ 十斗通 新一家上之 セ ニル 揭 + 周 ニア テ料 他 圍二新骨ラ生スル「少ナク或い全ク發 ル クル 外 リテハ消息子ョ以テ骨 モノ 力 見 膠 シス骨傷ニアリテハ稀薄ニシテ 中 如心 ナリ之二支シテ骨疽ハ新骨ラ 様ナル テ識 即 良 千骨湯 別心得 膿ラ 泄 ニアリテハ骨ノ患 士五 ラ 可 スラ常 面 キモノハ ラ電スル 頂大堂或及 ハ海綿 トス 發 稠 沕 井

合 テ " 11 -5 i 其 生 併 鑑 7 セ テ ス ") 液 别 端 得消 ス ス 通道 基 痛 生 息 消 テ 粗 ル " 而 息 子 シテ ス 9 鑑 7 ,1 ヺ = 起 子》 困 稀 別 シ ル ア " 疼痛 井 難 甚 テ , 由 ス ハテ 軟 二骨質 夕難 以 " E 而 ナル 脆 其 1 テ 离 对 7 シ 起 諸 歷 例 骨 7 丰 + テ + 骨 ŋ - 片 症 ス 7 -# 7 ル 骨 新 骨 1) セ 腔 ル ス 7 7 二页 ラ 探 瘍 即 ノ内壁 右 生 ラ 中三達 七其骨硬 手 ス スタロ シテ甚 --**小**錐 骨 論 ナシ 類 シラ 面 又 疽 門湯靈識 似 ス ス 骨 中心肯 ル 7 i 硬 而 ス 形 -骨 時 꺳 " シテ富 疽 固 12 湯 肥 7 E + 厚 瘍 外 成物 以 7 7

既 片 留骨片上誤覺 心易心故二骨疽 潑 モノハ遂二全夕溶 ハ漸々 一壊 如中骨腔ヲ割開シテ内景ヲ檢スル井八萬 二於 ラ見サル「少ナカラス ナルカ其理ヲ明カニセサルへカラス他ノ條 十月前 一次十五 ニシテ健全ナル肉芽中ニスシク存 けれているなな解ストリカン 消 テ既二論 死二陷り之骨片、如何人變化 耗セラレテ其容サ減 説セシ 解 セラレテ其痕 如夕壞死七七骨片八 ア然 リレテ圧 ナ六 上誤 少シス 支 既小 跡 100 マリ易 順戶皆處及 ヲナス 小片ナル サ 在スル 失 收廢 7 1 活 井 F

一由 ス 7 + 酪 上 變質 實驗二 ナリ 性 件論スルカ 頹 キモノ 生 活潑 i 升 性 敗シ骨質ラ 通道 易 溶 4 性骨炎人如 7 論論 解 具 據、 シ如 + トス N. N. ラ セ テ フル 故 如り壊 何 疑 ラルル ス - 遲 i 7 溶 トナ モノ テ 容 、モノナリ 解 キニアリテハ ,, 鈍 頹 L 死セシ骨 スルノ V 腐骨 200 1 性 敗 サ 炎 レ或 及 ル カ 性 E 呼 件 ラ 産 1 云 片ハ 化膿 并来 八戟 + -五 他利 坳 限 溶 ") 7 健 ì 局 然 川天雪龍 性 略 ヲ肉 解 質二 雏 北東 全,肉 若 + 性ノ骨 ス 云芽 L 被勘 軟 -F ル 7 變 絕 內 組 因

乾

疽

芽

ス

カ

織

芽

膿 ルナリ 3 ス是レ骨片ノ全ク肉芽二由ラ極ハレサルニ由 ア失 と被骨面常二空氣三曝露スルキハ溶 四 経 7 作 N 方 斗通論 用 セン骨膜ョリ絶へス膿ラ 丰 難 肉 王 3 F 五 其 ノ又心急性骨膜炎ョリ生 り掩 芽 由テ 吸 ン故二萬骨八膿 卜着 他肉芽 收セラル、フナシ 一般と上左 膠 7 羽ノ肉 様 爾 スル 面 或八點 ョリ絶 芽 7 铁 糊 ,\ 中= へス膿 ハサルカ 日 様三變シ若クハ トス 分泌スルラ 7 アリテハ 十七 経 ラ分泌 スル質骨ハ ル 而シテ窗骨 故 順天堂處及 井 1 彌 -议 化 吸 久日 スル 收 解 脂 テ直 肪 7 化 的 セ

外海 通 端 雅丰姐

肉 變 肉 骨 然 7 論 芽 芽 由 健骨ョリ分 一一一一 化 スヘシ 體 中二 テ溶解 テ最も奇トナス可シれ ニ由テ ラ受 1 外二 游 ケ 例 如 被 或 排 離 + セラル、ラ以テ其容サ 之 運動 離 用 ハル、 ハ全ク ス 脛骨= 肉 スルキ、健骨ョリ セ ラル 芽八窗骨片ラ四 7 化 中心骨 形ノ腐骨片八時 起スモノ 膿シ ٦ 疽 テ膿 P 如 1) 何ノ + ラ生シ 12 是 洞 方 稍小下 生 作 ヲ造 力 其 次 哥 ス 用 1 3 " 12 骨 = 2 シ -謂 12 被 + 由 肉 片 良 テ 7 自 张 1) 全

坳 掩 芽 全 雖 ク 質 v 器 遂 發 K 通 械 生 只 綸 被 -膿 议 且 右 的 従 此此一大 ツ 固 開 11 テ 能 = 7 論 腐 17 柑 作 " 泄 3 D テ 骨 ス 出 " 用 ス 3 ス 破 * 1) 其 若 环 破 セ 出 部 排 力 開 头 開 端 所 端 出 D 严 如 D 時 = 可 於 部 外 浒 ク自 3 モ セ 1) ラ 哥 テ ラ 向 當 當 然 排 ナ = 八骨二 ス ") 来 又 リテ 出 17) 三全ク溶 リテ テ 窗 順天堂或及 但 ル = 僅 骨ノ 難 ì 其 破 抗 至 1 骨 位 開 抵 シ 12 丰 二 是 解 然、 置 11/ 片 D ス 肉 稍 7 セ 12

然 療 スル ス 12 法 12 ラ 除 井八第一二八健 即 外 ス 去 他 丰 4 疽 P 少 テ、商骨 ラ 腐骨片ノ 一 スルヲ 療 過 術 硬 サ 固 + ンハ 法八只手術二由テ宙骨片ヲ除 力 免 ヲ最 井 ラ 健 柑 然 ス カレス 全骨 骨 寫骨 = 换 出 初 保 桁 3 3 H 第二二八 若 7 1) ŋ 試 全 鋸 7 シ通 斷 7 施 ク 新 可 シ除 分 ス 常 窗 生骨 カ 離 = + 骨 去 自 自 ラス ス 7 新 然 7 セ ラ 12 3 除 一個 生骨 時 若 7 本 期 去

建士油

三海 淵麗。

由 骨ノ硬固トナル時期二於テス而シテ腐骨ノ健 骨,健骨ョリ全々分離スルイ之一极れへ十新 骨 骨八厚 断ノ困 亦骨ノ 三アリテハ之ヲ診断スルコ大三難レ又下顎骨 水斗通倫 一卷十五 テ之ヲ知ル可シ然レ田萬骨ノ過大ナルモノ 否 ヨリ 如キハ大骨ナラスト雖 ヤラ量察スルー助トナスへ心腐骨八通 か離スルヤ否 薄三由ラ酸骨ノ既三健骨ョリ分離スル 難ナルトニアリテハ病機ノ長短 動 移ヲ知ルフ大二難シトス以り如り診 中八通常消息子/探診= 骨形彎曲 十九 ナルランテ 順天堂或及 及新生 例

骨櫃 1 認 錐 沙 井 開 离 スペシ 分 月 骨片 新生骨未夕十全 11 ヲ西女ス ムルトキハ可及的 スナキニアラサル可シ又筋骨既二分離 離 骨 乃 ノ中ニ 然七日 至 疽 7 スルモ 柑 十 ルカ 1 在 月 出セン + 彌 アリ 1 7 1 12 スノ 1 久 シ E N. 全骨 1 此術ラ名ケテセクマストロ + ス 故 1. 化 ラ 丰 村出ラ急ッヘレ スルニ新 幹 膿ニ由 = 一年 4 ス 7 然 ルキ 経 1 儿中 雖 H 产既二蛋 八他 例 ノス 生セル骨 任 ,, 外 既 健 三新 v 日 + 骨 丰 之 ル 白 櫃 7 生 7 3 E 柑 ノ割 尿 ") 経 1 セ

ス

1

出

7

亦

全

12

骨鉗 新 穴 法 シ ル リ若シ骨 朴斗題論 7 截 川時 狹 离 骨 者ニアリテハ 生骨ノー ヲ得へシ又骨瘍性骨疽三於テ新骨ヲ生 三一直手術下云其術八甚夕單易 除刀可以了妻口卜共二軟 7 7 櫃 ニレテ其中ニ存スル萬骨片大 1 柑 シテ究動器整槌等ラ用 櫃ノ九十二シテ衛骨片小ナル 穴中三挿入シ骨 北上五 部ラ削 出スルフ 只軟部二於テ妻ロラ 除シ村出二便ナラシム ラ得 片ラ 可シ若 一十 容易二相 組 織 ユ i ル 新 7 順矢置處反 ナル 廣 生骨 七刀 ナル 7 1. 割 7 クセカ 出 E 7 中 スル 櫃 ル 丰 セ 開 テ #

1 時 哥 排 新 Zinni 泄 7 = 即 遲 鈍 鑿 テ 出 生骨面 性 鈍性潰瘍 櫃 スヲ 千 骨瘦 中 潰瘍ノ療 トレシ 軟 スヘシ ニテ 以戸常二清淨二 組 肉 テ骨 井ラ生 削 織ラ新 二達 トナ 術 ノ狀 開 ス 法 ル 后 櫃 シ 穿穴 然 シ遂 11 生骨 + ラナン社 1 二從 内壁 新 7 12 二化 十全 面 后 生 フへシ殊二路鐵 孙 スヘショヲ経 ノ骨 骨膜 肉 1 3 如 骨 并/ + 1) 英化セサルモ 剥 + ス 離 櫃 12 症 ル 中 發生十分 7 離 剥 ラ常 キア シ骨

認

メデ

骨

片

7

櫃ノー

部

-用

ユ

12

鐵

姓

ヨリ

微

R

膿

7

ル

=

從

亨

1

ス

然

+

ラ

ス

7

テ

ハ遅

1

7

ラ以テ最

モ 小計通論 人卷十五 余 創 研 數 17 泄 7 t 7 診 新 生 ス 朋 効 スル ,法= 口 シカブ 治 可 斷 殆 1 生 T 十年大阪陸 力 リト ノ方法 骨 モ シト P 1 從 1 ラス 1 櫃 7 ラ 中 -ル ス U 惠 其 1 等 施 7 スト = アル 收 手 本 者 即 コ 贅新 軍 文二 ソン 術 骨生 千 セ 多クク y 骨 酷 E 7 ノ方法 時 1 即 ,, 疽 其 詳カナレハ以二 1 病 多 千折 シテ 手 周 銃 主 シ患 院二 圍 悉 桁 扎 骨 ク本 絕 -= 7 部 端骨疽 生 由 施 7 順矢堂藏板 へス ī テ 文 リテマセ 1 コ 述 膿 骨 軟 セレ 症 贅 候 折 部 -7 7 陷 言 流 斷 11 ル 及

科工通過 セ 子白 施 テ 年前 经工作 期治十年天政陸軍臨時初院二子中 斃 ス術 セサルヘカラス ス 7 12 后 在人本也問令衛在李衛又处日本多 ニアラシメハ空シク患者ノ骨膿ニ由 ナキ > ヲ 3 7 三 送信等不明領外 見 X ニアラ "全 其中西北京各島京本 12 可ク又斯 サル 治ヲ得タリ 可元余以二感ア 九惠者三切 若し余曹 川河流 斷術 S. S. " 7

佝僂病病名ランチス、小原トデリシア語ノラと 一〇〇向 ス 小計通論 人卷十五 た「ラヒチ ラ テ 英吉 少ナキョ以テ之ョ考フレハ此 ョリ 7 〇第三十六章 詳 チスハ即手脊 變 引用セシモノニシテラヒスハ脊椎 力 樓病。 利病 ス病ノモノ却テ脊椎二患害ヲ蒙ム 11 軟骨質病 ス ト云フ益シ英醫始メテ山疾 ル 病解 7 難 椎 理剖 0的 ン後 炎ノ義ナリ 泰變 法化 0 世人更二此 三 症 候 病名ノ因 病假 順民堂藏板 ١ = 疾 譯佝 病 ス隻 テ 病 ヲ 来 稱 ル ヲ

柳 詳 全 7 齡 之 モ ì = 發 身 侵 伯 1 ク 1 シ 力 ク 倭 病 肥 ス + ス -論 故 種 厚 病 然 7 而 + 常 ŋ ス シ 7 載 固 V 年 12 本 テ 該 而 有 K シ + シ 骨 性 且 正 病 ス ス 1 端 英 テ 並 ,, 當 即 ル 7 成 多 者 國 7 軟 ナ + 骨 長 -) ラ 血 テ クハ = 多 液 腺 ぇ 而 - 即 ス ス 病 洲 テ ル 發 ī 調 存す 如 ス骨 スル 骨 テ 症 同 和 何 時 該 質 狀 不 ル幹 1 症 ナレ 種 良 病 言諸 軟 中 7 骨骨 腺 -加 症 + " 歸 ョ端 爾 1, 病 部 ル 1 時 児 基 性 = 1 云 + ス 骨 フ間 由 小 塩 , ス

年

+

児

E

質

著

ラ 僂 血 1) 乏 ス 伯 者 中 病 樓 ス 組 12 ルル 雖 織 病, 通 云 3 腺 吸 學上二就 綸 收 ヘリ 以テ全 病 旦 只化 ウ氏ノ檢 小児二微 ハナ 卷十五 骨質 二發シ Ti) 去ル 骨 孙 テ説 ク m , 中二產 スヘキ 如力 易 查 同 i 之 ク 1 種 丰骨 解剖上ニショ祭スレハ F 骨 出 軟 井 腺 + 據レハ 類 セシ 12 中二 骨 ,, 膜 病 ナラ ħ 中 組 炎骨炎等 ノ症狀 二十三 否 -佝僂 加加 加 織 サルル 児基 八未 ク構 児 加 基 頂天堂歲及 児 病 7 7 少確 一質ラ 質 基 惠 成 ラ發 見ハサ 知 質 者 十全十 12 復 定 缺 7 , 可 ス 37 骨 伯 缺 セ シ

中ノ諸骨多クハ彎曲シ易シ殊二重尚ョ誓 或八之声産 二著シク見ル所ノ症 大腿骨前方或八内方三彎曲之又小腿骨八下三 丰者八只筋肉,收 云 サルハか児基質 ラス味ニ 即手佝僂病三雅儿者人骨質常二十全堅硬力 全ナル 雖 輓 近諸家,實驗二樓儿二骨組 下財骨三以在ラ發スルコ多し即 只 出スル甚 加 児基質ラ全 が鉄 縮 夕僅以ナルニ由 三由テ彎曲ラ来スコツ ナリ其他骨質,軟 乏 二 因 ク産 スル 出 + ス 1) 織ノ構 12 12 脱基 故 ナ 7 1)

體

者

F

+

川海 的顾

7

1-

小斗題 倫 紫上石 由 弯 佝 圖 示 僂 ス 曲 テ 下 生 症 脚 病 二十四 順矢堂歲五

骨水 鴻本 骨 曲 而 ス 且 ヲ 胸那 ,一,所二於戸前方外方或八內 胸 テ 見 肢=彎曲 異 ツ兹チノ發 7 E 骨 脆 胸 狀 ハス 云 廓ハ雨 7 軟 又 少 贖骨 前 其 顯 , + 性ヲ具へあシ ヲ見ハスハ多リハ全骨或ハ皮 他 7 力 ハサ 向 佝僂 推 側 生 ラ " 柱骨及と上肢を亦著シク 亦大三運 3 ストルショウ氏ノ ス 病 ŋ テ i 凸 テ 児 麗 只 出 = 搾 テ 後 シ 7 ス所謂難 セラル 郿 1 1) 頭 骨 ス時 迫二 テ ,, 方三彎 = 脆 胸是ナリ 論 由 殊 1-力 テ 軟 如 = 後 據 陷 曲 テ ク 戀 様 發 他 頭 ス

片腳

軟骨 骨 質 目 クル所ノ諸症ヲ参考スルド 化ラ願がスモノナリ 錐 右 ノナリトス時トンテ全ク折断スルモノア 八年 題 篇一卷上五 瞭 二論 稀 スラ生ン治スルモノナリ ノ各部二数多ノ小屈折 然 肥 部下硬骨部/堺三肥 ナリ然ル井八通常ノ骨折療法二由 厚八殊三提骨 スル諸骨ノ外佝僂病ニ由テ骨ニ他ノ變 ナリ 若シ 右 ノ諸 人下 即手骨端 症 端 厚 未 ラ生スルニ 八佝 = 著 夕顯 ヲ生 二士五 軟骨及上 樓病 ス但 i 發 + 順天堂鐵友 セ サル シ骨端 因スル タル 入 上 肋骨 テカ 前 件 揭 軟 モ

鑑 即 1) 增 經 而 肪 定 過 千食 進 見 = 發 = 富 困 ラ テ消 ス 1, 療 セ 然、 難 欲增進、 ス 児漸及成長 111 + 法 12 v 肥 宜 化 而シテ 十川然 機 易 満 压 シ E スル 形, 所 + 不良) 7 腹膨 佝 疟 且 7 + 樓 氏自ラニ三日/ ツ給 スルニ従と諸 1/ ヲ以 " 得 便 满起立 例 病ハ多クハ 児 = 發 秘等ノ症 ル井八速 養 之骨 テ + 必 スルフ 行 ノ彎曲 ス 全 德 走二由 鑑 ナル 7 識 發 症 沿 年 潛 沙 减却ン或 症 シ モ 盛第二年ノ ス 7 1 伏 或 テ 易 + 傾 症 " 加 如 カ セ 跌 ラ 7 脂 症 而 五 セ ス

療 喫 期 サ 劑 劑 粉 作斗通篇 · 影片五 カラ 或 セシ 法 五即 ヲ 3 體質 投 y テ骨ノ彎曲 ス モノ 純 製 スヘン其 4 維 内 燐 T 蠡十 ラ改良 スルニアリ即チ麵 スル飲食等ヲ禁シ牛乳雞 スルモノアリ時 少然 四三至リテ佝僂病ノ諸症在其 多 沿 酸 美公肝 7 7 八効 稱 他 ヲ四復 上氏稀 輓 用 + 並 油鐵 ス 其 燐 ス するのなるの シ 剩 ルラ 他 トシテ諸骨成 只 酸 患 其 副 石 二六 者 試 他 木等諸 灰 ムル 強壯苦味ノ諸 + 7 夠 酸 困 卵 順天堂鐵及 窮 般 化 馬苓薯 牛肉等 E 鐵 ノ器 長ノ 1 セ 少 合 械 極 ヺ セ

折 復 7 トス復 施 E ホル 丰彎曲 矯正スヘン其法二種 ス井八通常ノ骨折掛ノ如ク容易二 スル ノミ めシ 之 ラ 矯 骨ノ彎曲 諸症 リーハ「ランゲンベッキ」氏ノ法二従と他 ムラ吸入センメ術ラ以テ骨ラ皮 皮下截骨折ヲ施スへも モノナルラ以テ自 ラ遺スモノ 漸 次消滅 正シテ正直トナンギフス い年盛ノ長スルニ及ンテ舊 アリ然ル片ハ街 スル アリーハ小 然 モ 四肢 = 任 スル 殊二下肢二著 川河端龍湖 児ニ「ホロオ ラ却 沿 ラ以テ之 極 納 下ニテ テ 良 7

由 的 様 N斗 通 简 美 上 左 力 = 骨質衛々吸 彎曲 變化八骨 由 質漸次菲薄トナリ骨質脆 アリ + 骨質病 該骨病 骨 易 テ生スル管骨 1) テ テ 膜 スルヲ シ 彎曲 モ 而 炎 亦 = シ ヺ テ遂 议 右症十一 牧セラル シ 及 遺 易 七骨 テ主 7 ノ變化 八佝樓 ス = 雕 11 瘍 戳 = 骨質 様 質ハ 至 1 = ヺ 類 二在 病 ル ス ニシテ骨質漸次 揭 然 弱ト = 於 全ク吸 7 紅 似 ニナン 色ラ帯 P 17 ス ル v 1) 柳變軟骨質 12 E ナリ ナリ ケ 收 頂天堂或友 ル 片 又 只 海 故 テ 11 異 r セ 为 如り 且 綿 ラ 即 且ッ彎 = + 脆 状 " 解 7 12 僅 粘 骨 軟 皮 病 骨 研 剖



變軟 骨ノ離 ラ 見 ノハ益シ乳 ラレン邊縁八其分堺鋭正ナラストス而シテ管 シ「カルク質ハ慈酸石灰トナリ多量三尿中二 女 ラ 十年 通前 美上五 可シ而シテ變軟骨質病 子之二雅 八風土病トナリテ一地方二多キコ スル 骨質 、中通常ノ骨瘍二於テ見ルカ F 中二乳 病 リ易 ノ病 酸ナラン而 + 1) 酸习發 心殊二産婦ヲ侵ス 源 八未夕詳 見 シテ血 セリ骨質ラ 二於 カ + テ骨質ヲ吸 中一吸 ラス 熔 如りる つ多シ 頁天堂或支 アリあ 歐 收 解 洲二於 セ ス 12 運 食セ 收 ラ 發 動

甚シ 財 或 外 姑 脫 罹 怡 之 息 科 衰 癒 ヲ 1) = 11 彎 = 由 且 刺 通 促 ス 力 戟 論卷之十五 " 曲 ル ラ 力 テ テ 病 7 7 # ニ由テ ス 生 沙 固 死 機 ル + y 3 ス ス 1 + モ 7 12 該 ル 疼痛ョ生 極 1 力 奏 7 度 ラ 例 病 モ 1 之骨 ア 劾 -ス 確實 達 局 y ナリ 之 盤= ス其 部 セシ 即 = 該 页 + チ ヺ 他 侵 病ノ 筋 ル E シ 7 テ 脊椎 1) 1 シ E 1 諸 療 且ッ 1 收 テハ 7 惠 骨 縮 法 若 + 其 者 自 疾 八公竟 7 -然 惠 由 生 症 11 力 下 テ

タ料道

老师

川湯等端

發光書林 馬衛三丁目五番地 助

述人 佐藤 進出版 佐藤尚中

